

第七十六回
帝國議會
貴族院

樺太開發株式會社法案特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

樺太開發株式會社法案(政)

委員氏名

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵周布 兼道君
公爵岩倉 具榮君
侯爵井上 三郎君
子爵米田 國臣君
子爵梅園 篤彦君
子爵綾小路 護君
平塚 廣義君
男爵松田 正之君
男爵西 乙君
三浦 新七君
有賀 光豐君
江口 定條君
水野甚次郎君
岩田 三史君
佐々木長治君
秋田 三一君
佐藤助九郎君

昭和十六年二月十三日(木曜日)午後一時
三十八分開會

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) ソレデハ只今

カラ委員會ヲ開會致シマス、御諮リ致シマ
スガ、今日ハ政府委員ノ大體ノ説明ヲ承リ、
政府カラノ參考資料ノ御提出ヲ願ヒマシテ、
マダ參考資料モ十分見テ居ラナイノデアリ
マスカラ、今日ハ其ノ程度ニ止メテ置キタイ
ト思ヒマス、ソレデハ政府ニ御願ヒシマス

ケレドモ、衆議院ニ御出シニナク参考資料
ハ全部貴族院ニ御提出願ヒタイト斯ウ思ヒ
マス、ソレカラ此ノ際ニ何カ參考資料ノ御
請求ガアリマスレバ、ドウゾ御申出ヲ願ヒ
タイト思ヒマス

○政府委員(北島謙次郎君) 私ヨリ樺太開
發株式會社ニ付キマシテ、之ガ設立ノ趣旨
竝ニ概要ヲ申上ゲタイト思ヒマス、時局ノ
進展ニ伴ヒマシテ、國內産業ノ擴充ニ依リ
マシテ、之ガ基本資材デアリマスル石炭ノ
需要ハ最近著シク増加シテ參ツタノデアリ
マスガ、樺太ニ於キマシテハ良質ノ石炭ガ
全島内ニ互ツテ多量ニ賦存シテ居リマスシ、
且其ノ採掘及運搬ニ關スル條件モ比較的良
好デアリマスノデ、之ヲ開發致シマシテ燃
料國策ニ積極的ニ寄與スルコトハ此ノ際極
メテ緊要ナル方策ト考ヘルノデアリマス、
又樺太ノ森林資源ハ我が國工鑛業其ノ他木
工場用材ノ供給ニ大ナル貢獻ヲ致シテ居ル
ノデアリマシテ、殊ニ最近ニ於ケル之ガ需
要ノ増加ハ誠ニ著シイモノガアルノデアリ
マス、依ッテ各種木材ノ價格ノ調整竝ニ配給
ノ圓滑ヲ期スル爲ニ、斫伐事業ノ合理的經
營ヲ致シマスコトハ今日極メテ必要デア
ルト考ヘラレルノデゴザイマス、同時ニ又之
ガ爲ニ樺太ノ森林資源ヲ恒久的ニ保護セシ
メマスルト共ニ、之ガ積極的増殖ヲ圖ルコ
トモ此ノ際特ニ意ヲ用ヒナケレバナラナイ
コトト考ヘマスノデ、現在無立木ノ儘休眠
シテ居リマスル土地ニ對シテ廣範圍ノ造林
事業ヲ實施致シタイト存ズル次第デアリマ

ス、更ニ現在食糧ヲ悉ク島外ヨリノ移入ニ
俟ッテ居リマス樺太ト致シマシテハ、最近
ニ於ケル帝國ノ食糧事情ニ鑑ミマシテ是非
共島内ニ於テ一部食糧ノ自給化ヲ圖リ、以
テ島民ヲシテ其ノ居ニ安ンジテ其ノ業ヲ樂
シマシメルト云フコトガ實ニ喫緊ノ要務
デアルト存ジマスノデ、之ガ爲ニ國有未開
地及民有未利用地ノ開發ヲ行ヒマシテ、
以テ樺太ノ實情ニ適合シタル飼畜機械化農
場ノ經營ヲ行ハムトスル次第デアリマ
ス、以上ノヤウナ樺太ノ當面致シテ居リマ
スル各種ノ喫緊ナル事業ヲ遂行シ、併セテ
樺太ノ拓殖開發ニ資スル爲ニハ、國家ガ直
接ニ指導監督ヲ加ヘ得ルヤウナ強力ナル機
構ヲ整備シテ、之ガ遂行ヲ期スル必要ガア
ルト信ジマスノデ、今回政府ニ於キマシテ
此ノ樺太開發株式會社ノ設立ヲ企圖致シタ
次第デアリマス、次ニ此ノ會社ノ概要ヲ申
上ゲマスルト、先ヅ此ノ會社ハ特別法デア
リマスル樺太開發株式會社法ヲ制定シテ設
立致スコトニ相成ッテ居リマス、資本金ハ
總額五千萬圓、總株數百萬株、一株ノ金額
五十圓、第一回拂込ハ其ノ二分ノ一ノ豫定
デアリマス、資本構成ハ半額ヲ政府出資、
半額ヲ民間出資ト致シマシテ、政府出資ノ
方ハ樺太廳ノ現在所有致シテ居リマスル石
炭鑛區ノ鑛業權竝ニ金錢ヲ以テ之ニ充テル
豫定デアリマス、此ノ政府ヨリ現物出資ス
ベキ石炭鑛區ノ鑛業權ニ付キマシテハ、別
ニ評價委員會ヲ設ケテ公正妥當ナル評價ヲ
爲サシムル積リデアリマス、尙民間出資ノ

中一部ノ株式ハ之ヲ公募スル豫定デアリマ
ス、本店ハ豐原市ニ置キ、支店及出張所ハ
政府ノ認可ヲ受ケ、事業ノ必要ニ應ジ適當
ノ地ニ置クコトニナツテ居リマス、役員ハ社
長、副社長各一人、理事三人以上、監事二
人以上ト致シマシテ、社長及副社長ハ主務
大臣之ヲ命ジ、其ノ任期ヲ五年、理事ハ株
主總會ニ於テ選舉致シマシタ二倍ノ候補者
中ヨリ主務大臣之ヲ命ジ、其ノ任期ヲ四年、
監事ハ株主總會ニ於テ之ヲ選任シ、其ノ任
期ヲ二年ト致ス積リデアリマス、又本會社
ノ業務ニ對シテハ、一方政府ニ於キマシテ
嚴重ナル監督ヲ爲スト同時ニ、他方相當ノ
特權ヲ附與スルコトト致シマシテ、即チ本
會社ニ對シテハ其ノ資本金額ノ三倍ヲ限ッ
テ樺太開發債券ヲ發行シ得ルモノトシ、且
政府ハ適宜助成ノ途ヲ講ジテ、以テ之ガ健
全ナル發達ヲ庶幾スル積リデアリマス、之
ガ爲メ毎營業年度ニ於ケル配當シ得ベキ利
益金額ガ政府以外ノ者ノ所有スル株式ノ拂
込ミタル株金額ニ對シテ年六分ノ割合ニ達
スル迄ハ政府ノ所有スル株式ニ對シテ利益
ノ配當ヲ爲スコトヲ要セザルモノトシ、又
利益金額ガ六分ノ割合ヲ超過シタル場合ニ
於キマシテハ、其ノ超過額ハ利益配當ガ拂
込ミタル株金額ニ對シ均一ノ割合ニ達スル
迄、政府以外ノ者ノ所有スル株金額ト政府
ノ所有スル株金額トニ對シテ、一ト四ノ割
合ヲ以テ之ヲ配當スルコトト致シタイ考デ
アリマス、次ニ本會社ノ事業ノ概要ニ付テ
申上ゲルコトニ致シマス、先ヅ石炭採掘事

業デアリマスルガ、是ハ現下燃料資源ノ熾烈ナル需要ニ鑑ミマシテ、樺太炭田ノ開發増産ヲ行ハムトスルモノデアリマシテ、差當リ樺太廳ノ出資ニ係ル奥南名好鑛區ノ探掘ニ著手スル豫定デアリマス、御手許ニ略圖ヲ差上ゲテアルカト思ヒマスガ、本鑛區ハ南名好川ヲ遡ルコト約八「キロ」以東十五「キロ」ノ地域ニ互リマスル面積一千萬坪ノ鑛區デアリマシテ、其ノ埋藏炭量ハ合計三千五百萬噸ノ豫定デアリマス、炭質モ亦比較的良好ノヤウデアリマス、出炭計畫ト致シマシテハ、第一年次十萬噸、其ノ後遞増致シマシテ第六年次カラ百萬噸ノ豫定ニ相成ツテ居リマス、第二ニ斫伐事業デアリマスガ、是ハ最近石炭鑛業ノ發展ト諸工事ノ勃興トニ伴ヒマシテ、木材ノ需要ガ著シク増加致シマシタノデ、之ニ對處セムトスルモノデゴザイマシテ、之ガ爲樺太廳ヨリ國有林木タル「トド」松、「エゾ」松、「グイ」松ノ拂下ヲ受ケマシテ、之ヲ伐採シ丸太材トシテ島内鑛山業者、木工場經營者其ノ他ニ配給セムトスルモノデアリマス、出材ノ計畫ト致シマシテハ、第一年次ニ丸太材百萬石、第二年次以降ハ逐次需要ニ應ジ毎年丸太材二百五十萬石ノ生産ヲ爲サムトスルモノデアリマス、第三ニ造林事業デゴザイマシテ、是ハ樺太森林資源ノ枯渇ヲ防止シ、之ガ恒久的の保續ヲ期シマスルト共ニ、積極的増殖ヲ圖リマシテ、我が國纖維工業資材ノ源泉ヲ確保セムトスルモノデアリマシテ、之ガ爲現在無立木ノ儘休眠シテ居リマスル國有未開地六萬町歩ヲ本會社ニ貸付ケ、此ノ會社ヲシテ「エゾ」松、「トド」松及「グイ」松ヲ植栽セシメルコトトシ、又樺太廳ヨリハ必要ナル苗木ヲ無償交付致シマシテ、且林内ノ

歩道及防火線ノ施設經費ニ對シテハ補助金ヲ與ヘムトスルモノデアリマス、而シテ植林ハ第二年次カラ第十五年次迄ニ完了セシメルコトト致シマシテ、最初ノ二箇年間ハ播種造林ヲ行ヒ、四年次以降ハ人工植栽ニ依ルコトト致シマシテ、此ノ期間内ニ於テ「トド」松、「エゾ」松合計二萬五千町歩、「グイ」松三萬五千町歩、以上合計致シマシテ六萬町歩ノ植栽ヲ完了シ、植栽後「グイ」松ハ四十五年、「トド」松「エゾ」松ハ九十年ニシテ主伐期ニ達シマシタ後ハ、各樹種共年伐量ヲ定メマシテ、天然更新ニ依リマシテ一定ノ蓄積量ヲ保有セシメムトスルモノデアリマス、第四ニ農場經營ノ事業デゴザイマス、是ハ樺太ニ於ケル食糧自給ノ一助ニ資スルガ爲ニ、國有未開地及民有未利用地ノ開發ヲ行ヒマシテ、十五箇年計畫ヲ以テ樺太ニ適合シタ有畜機械化農場ヲ經營セムトスルモノデアリマシテ、之ガ爲毎年約一千町歩ノ豫定ヲ以テ合計一萬町歩ノ開發ヲ行ハムトスルモノデゴザイマス、經營ノ概況ト致シマシテハ「農場ノ單位ヲ二百町歩ト致シマシテ、其ノ農場ハ二箇年ヲ以テ開墾ヲ完了シ、「トラクター」ハ百町歩ニ付テ大體一臺ノ割合ヲ以テ備ヘ付ケル豫定デゴザイマス、之ヲ以テ開墾、整地、其ノ他ノ主要作業ヲ處理セシメントスル豫定デゴザイマス、其ノ栽培ノ品種ト致シマシテハ小麥、燕麥、蠶豆、馬鈴薯、甜菜、「チモシー」、「クロバー」等デゴザイマス、是ト同時ニ乳牛、種牡牛、耕馬、豚等ノ家畜ヲ飼養スル計畫ニナツテ居リマス、以上ノ外本會社ハ必要ニ應ジマシテ漸次是等ノ事業ノ附帶事業、樺太ノ開發ノ爲必要ナル事業ヲ經營致シマスルト共ニ、重要ナル事業ニ對シマシテハ或ハ

仔會社ヲ設立シタリ、或ハ資金ノ融通ヲ致シマシテ、之ガ指導統制ヲ圖ル計畫ニ相成ツテ居リマス、以上ヲ以テマシテ樺太開發株式會社ニ付キマシテノ大體ノ御説明ト致シマス

○委員長(伯爵兒玉秀雄君) 此ノ場合參考資料ノ御要求ガゴザイマシタナラバ、ドウゾ御申出ヲ願ヒマス、差當リ參考資料ノ御請求ガナケレバ更ニ必要ノ生ジマシタ場合ニ御請求ニナルコトト致シマシテ、今日ハ大體此ノ程度ニ止メテ置キタイト思ヒマス、次回ハ十七日ノ午前十時ト云フコトニ致シマス、今日ハ此ノ程度ニ止メテ置キマシテ、散會ヲ致シタイト思ヒマス

午後一時五十四分散會
出席者左ノ如シ

委員長 伯爵兒玉 秀雄君
副委員長 男爵周布 兼道君
委員

公爵岩倉 具榮君
侯爵井上 三郎君
子爵米田 國臣君
子爵梅園 篤彦君
子爵綾小路 護君
平塚 廣義君
男爵松田 正之君
男爵西 西乙君
三浦 新七君
有賀 光豐君
江口 定條君
岩田 三史君
佐々木長治君
佐藤助九郎君
國務大臣 拓務大臣 秋田 清君

政府委員

拓務次官 北島謙次郎君
拓務省殖産局長 植場 鐵三君
樺太廳長官 小河 正儀君